

News Release

2018年12月7日
株式会社日立製作所

三菱UFJ銀行のインターネットバンキング向けに 国際規格 FIDO に準拠した生体認証ログイン機能を提供 「指紋」や「顔」の生体情報によるセキュアで利便性の高い本人認証を実現

株式会社日立製作所(執行役社長兼 CEO:東原 敏昭/以下、日立)は、株式会社三菱UFJ銀行(頭取:三毛 兼承/以下、三菱UFJ銀行)のインターネットバンキングにおいて、オンライン認証の国際規格 FIDO(ファイド)*1 に準拠した、「指紋」もしくは「顔」の生体情報による認証機能を開発し、提供を開始しました。

これにより、三菱UFJ銀行のインターネットバンキングをスマートフォンアプリで利用する際の新たな本人認証機能として、11月21日より生体認証ログインサービスを開始し、お客さまIDやパスワードを入力することなく、セキュアかつ簡単にログインすることが可能となりました。

今後、日立は、今回の取り組みをもとに FIDO に準拠した認証サービスの開発を検討し、他の金融機関をはじめ、小売・流通などさまざまな業界が提供するオンラインサービスへの適用拡大を図っていきます。

近年、金融機関や流通などさまざまな分野で広がるオンラインサービスでは、本人認証手段として ID・パスワードの採用が主流となっているものの、ID・パスワードは盗難・なりすましの危険性があることから定期的なパスワードの更新が必要となるなど、安全性と利便性の両立が課題とされています。そのような中、ID・パスワードの代わりとなる、より安全で利便性の高い認証手段として、生体認証への期待が高まっています。

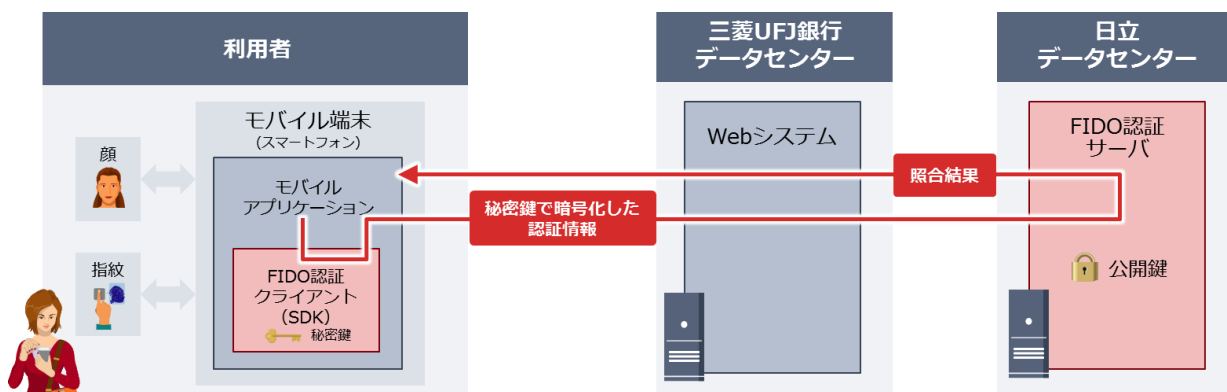
今回、日立は、インターネットバンキングシステムの構築・運用ノウハウや生体認証に関する幅広い知見をもとに、FIDO Alliance の創設メンバーかつボードメンバーである Nok Nok Labs 社*2 が提供する FIDO 標準規格対応ソフトウェアを活用し、生体認証ログイン機能を開発・提供しました。登録した生体情報は利用者の端末内で管理され、サービス事業者では保有しない FIDO 規格の仕組みを生かし、安全性と利便性を両立した本人認証を実現しています。

日立は、生体認証分野では、日立の独自技術である「公開型生体認証基盤(PBI)」*3 など、新たな技術開発に積極的に取り組んでおり、指静脈認証を中心に高いマーケットシェアを有しています。

今後、さまざまなオンラインサービスへの生体認証の適用拡大を視野に、「指紋」「顔」のみならず、「指静脈」をはじめとする他の生体情報に対応するマルチモーダル化*4 や、PBI の FIDO 対応など、日立がもつ先進技術との連携を図り、より安全・安心・快適な社会の実現に貢献していきます。

- *1 Fast Identity Online の略。FIDO Alliance が開発・推進するオンライン認証の国際標準認証規格。スマートフォンなどの端末側で個人を認証し、ネットワークに個人情報を流さないオンライン認証プロトコル。
- *2 米国において 20 件以上の登録済み特許を持つテクノロジーを提供している企業であり、FIDO Alliance 創設メンバーかつボードメンバー。パスワードレス認証プロトコル Universal Authentication Framework(UAF)仕様を提案したほか、FIDO2 仕様の共同策定を行った。
- *3 Public Biometrics Infrastructure の略。公開鍵認証基盤(PKI:Public Key Infrastructure)と生体認証の仕組みを組み合わせた認証基盤。生体情報から秘密鍵を都度生成し、認証を行う技術。
- *4 顔、指紋、掌紋、虹彩、静脈など、複数の生体情報を認証などの処理に使用すること。

■システム概要図



■ : 今回提供範囲

SDK : Software Development Kitの略。ソフトウェア開発キット。

■FIDO 規格について

全世界で 250 以上の企業・団体が参加する非営利標準化団体 FIDO Alliance が、次世代のオンライン認証として仕様策定を推進する国際規格です。利用者のスマートフォンなどを認証端末として活用し、端末内で生体情報の管理・認証が行われるため、サービス事業者では生体情報を保有しないプロトコルを採用しています。また、サーバと端末間では、端末に格納された秘密鍵を用いた公開鍵暗号方式で認証します。

なお、日立は、FIDO Alliance にスポンサーメンバーとして加盟しています。

■本件に関するお問い合わせ先

株式会社日立製作所 金融ビジネスユニット 金融システム営業統括本部 [担当:高島]

〒100-8220 東京都千代田区丸の内一丁目 6 番 1 号

お問い合わせフォーム: <http://www.hitachi.co.jp/finance-inq/>

以上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
